

# 初心

2011年盛夏号

平成23年7月発行  
年2回刊  
題字/福田富一 書

(発行所)

福田富一  
暮らしと政治研究所

〒320-0026  
宇都宮市馬場通り2丁目1番12号  
TEL 028(633) 1111  
http://www.tomikazu.com

## 東日本大震災から4か月

栃木県知事 福田富一



# 未来への生きる力に

——牛肉の放射能汚染——  
栃木県産牛の取引価格が3分の1以下に急落してしまつた。これでは飼料代にもならない。御案内の通り、福島県の牛肉から基準値を超える放射性セシウムが発見されたためである。それは稲わらが原因であった。

横浜市が学校給食に隣接県の牛肉も含め当分の間使用を控えるとの発表があり、1週間で買い手がつかないほど栃木県産牛のブランド力が低下してしまつたのである。

栃木県は次の四方針を決定した。  
一・福島県の計画的避難区域等から出荷され、県内でも畜した場合、すべてを検査する。

二・福島県の計画的避難区域等から約600頭の牛が県内に移動されているが当分の間出荷を自粛する。

三・県内約1900戸の畜産農家の稲わらを調査する。

四・県内でも畜する栃木県産牛についても、全頭検査をする。

安全な牛肉のみ流通させる、という方針により風評被害を食い止めるためである。牛肉の他、新茶、荒茶なども出荷自粛をしている。加えて那須町と日光市の牧草が肉牛と乳牛に食べさせることができな

いである。  
——町内の何か変りし草取りの数ふえる——  
NHKの文芸選評の川柳の部で紹介されたものである。

震災後日本人の意識の変化が指摘されているが、この川柳のように自治会の公園清掃やイベントに参加する人が増えていることは、テレビなどで紹介されている。又結婚情報センター(結婚相談所)に登録する人や結婚指輪を買う人も増えているらしい。さらに、再婚件数も増加しているとのことである。

足利銀行のシンクタンクが行つたこの春の就職者へのアンケートでは、収入を得るために働くという人の割合が減り、社会貢献のために働くという人の割合が増えたとの調査結果も発表になつている。

社会でいかに貢献できるか、地域の一員として何かできることはないか、夫婦や家族の絆を今一度結び直そう、などと多くの人が考えるようになったようだ。

3月11日の大震災は悲しい出来事であつたが、それを期にひとりひとりがこれまでの生き方を改め、支え合う社会に脱皮できるとするならば日本人がより日本人らしくなつたとと言える。

——3月11日をふり返る——  
その夜の停電は約57万世帯、断水は約6万2千世帯、帰宅困難者を含め避難所で一夜を明かした人が約1万人であつた。人的被害としては死者4名、負傷者131名、住宅母屋の被害6万1千棟余という状況である。今なお、約2千8百名の方が本県内で避難生活を送られている。

——とちまる募金が活躍——  
県内及び県外からの被災者支援を目的に設置した「とちまる募金」も6億6千万円とまった。協力頂いた多くの皆様に御礼と感謝を申し上げたい。市町を通じて県内及び県外からの避難者に皆様の真心としてお届けしている。

——結びに——  
6月議会で復興予算の議決を得て、その取組みが本格的にスタートした。年度内には大半が復興できる見込みである。今後とも災害に強い県土づくりを進めて参ります。

サッカー女子ワールドカップでの『なでしこジャパン』の優勝は、震災や原発事故に打ちのめされ、すべてに自信を失いかけていた日本人に、自信と誇りと勇気を与えてくれた。特に宇都宮出身の安藤・鮫島両選手は、日本チームの中心として活躍した。心から御礼と感謝を申し上げ、来年のロンドン五輪での金メダルを取ってもらおうべく皆で応援して参りたい。



『桜を観る会』(4月16日)で、テーブルを囲んで花見を楽しむ避難者と福田知事(中央)

# 東日本大震災発生M9.0

## とちぎのふるさと田園風景百選認定

「とちぎのふるさと田園風景百選」は、福田富一知事の公約の一つで、豊かな田園風景の継承と地域活性化を目的に「百年後にも誇れる田園風景をめざして」をテーマにした新規事業。1月11日に開かれた実行委員会で認定された。

自然環境と一体となった農村生活や、ふるさとの祭など伝統文化のある風景の写真を募集したところ、県内353地域から750件

の応募があり、活力ある地域の様子が残る風景として、宇都宮市古賀志町の城西西小のサクラ、日光市大室地区の水車小屋など全27市町102地域が認定された。

2月2日、県総合文化センターで「百年後にも誇れる田園風景をめざして」をテーマに記念シンポジウムが開かれ、認定地の関係者ら1200人が参加。認定地の代表に福田知事が認定証を手渡した。

## 宇都宮など5市町で震度6強

3月11日午後2時46分頃、三陸沖を震源とするマグニチュード(M)9.0の巨大地震が発生。宮城県北部で震度7、福島、茨城、栃木の各県で震度6強を観測。大規模な津波、火災等により多くの建物が倒壊、多数の死傷者を出す甚大な被害をもたらした。

17日、国の緊急災害対策本部と東電に対し、適切な計画停電実施を緊急要請。

18日、被災者支援のため、総額8億600万円の2010年度一般会計補正予算を編成し、専決処分。

## 計画停電の改善要望

17日、国の緊急災害対策本部と東電に対し、適切な計画停電実施を緊急要請。

## 被災者支援に8億円

18日、被災者支援のため、総額8億600万円の2010年度一般会計補正予算を編成し、専決処分。

## 福島県飯館村民受入れ

20日、県産ホウレンソウとかき菜から放射能。知事、JAに出荷自粛と自主回収を要請。「影響最小限に」

## 野菜から放射性物質検出

20日、県産ホウレンソウとかき菜から放射能。知事、JAに出荷自粛と自主回収を要請。「影響最小限に」

## 「とちまる募金」募集

25日、県内外の被災者を支援するため、義援金「とちまる募金」の募集を開始。

## 知事 被災地視察

13日、那須烏山市の土砂崩れ現場や真岡市の避難所を視察。避難者を激励。

## 県スポーツ功労賞授与

### 大阪女子V(マラソン)

### 赤羽有紀子選手

今年1月の「大阪国際女子マラソン」で優勝した芳賀町出身の赤羽有紀子選手に5月9日、県スポーツ功労賞が贈られた。夫の周平コーチとともに県庁を訪れた赤羽選手は、福田富一知事から賞状とトロフィーを受け取った。

知事は「ぜひ来年のロンドン五輪につながる成績を期待します」と激励。赤羽選手は「メダルをとって明るい話題を届けたい」と力強く宣言した。

### 全国都道府県対抗駅伝

### 日本一男子チーム

広島市で今年1月に行われた第16回全国都道府県対抗男子駅伝で、初優勝に輝いた本県チームの栄光をたたえる祝賀会が3月6日、宇都宮市のホテルで開かれ、福田知事から知事特別表彰の「県スポーツ功労賞」が贈られた。

知事は「アンカーの宇賀地選手がゴールテープを切った瞬間胸が熱くなった。来年は女子とのアベック優勝を期待している」と激励した。

## 知事 被災地視察

27日、水道施設が被災し、610戸で断水が続く矢板、さくら両市を視察。

## 8都県知事緊急要望

28日、福島、茨城など7都県の知事と共同で農産物放射線規制の見直しなどを蓮舫消費者担当相に要望。

## 農業者支援へ緊急融資

29日、被害を受けた農業者を対象に最大500万円を無利子で貸し出す「がんばろう、とちぎの農業」緊急支援資金を創設。

## 知事 国に14の要請書

30日、県市長会の佐藤会長、県町村会の古口会長らと共同で菅首相や8省庁に対し14の要請書を提出。

## 知事 東北3県訪問

4月4日、福島、宮城、岩手の3県を訪れた福田知事は、各県知事に「県の未来づくりの先頭に立って」と激励。被災者の受け入れや職員派遣などの協力を申し出たほか、各県に災害見舞金として300万円と県産イチゴなどを贈った。

## 訪問先の福島県で取材に就く

福田知事

## 知事 観光安全宣言

5日、県内の観光地は「大気も、水も、食べ物も安全で安心」とアピール。

## 東日本大震災1か月

11日現在、県内の死傷者は計131名、全半壊や一部損壊の家屋は計3万3225棟、土砂崩れや擁壁崩壊の危険性から矢板市や芳賀町など6市町10地区の100世帯に避難勧告が出ている。矢板市とさくら市の断水は計455世帯、県央と県北の国・県道4路線も全面通行止めになっており、本県にも甚大な被害をもたらした。「全力を挙げて復旧に取り組み。市町と連携を図りながら被災者の全面支援に努めていく」と知事。

## 知事 農産物アピール

14日、知事は本県農産物への風評被害の払拭と農家の応援のため、東京上野松坂屋の「野菜応援フェア」で自ら安全性をアピール。

# オールとちぎで危機克服を

このページは、下野新聞、読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、産経新聞、東京新聞、日本経済新聞の記事を抜粋させていただきました。



要望後、記者団の取材に応じる福田知事(右)



記者会見する福田知事(右)



福田知事



福田富一知事からスポーツ功労賞の表彰を受ける赤藤直人監督(左から2人目)

### 観光庁長官に支援要請

19日、知事と県観光物産協会の小松会長らは、観光庁の溝畑長官に、風評被害への観光業支援と救済を要請。



溝畑観光庁長官(右)に観光業への支援を要請する観光物産協会の小松会長(左)と福田知事(中央)

### 緊急雇用創出事業適用拡大を

20日、知事は菅首相らに国の雇用創出事業適用範囲を、県内全市町に拡大するよう要望書を提出。

### 「那須平成の森」開園報告会

那須御用邸の一部を活用した「那須平成の森」が5月22日の開園を前に、フィールドセンターで21日、関係者らが出席して開園報告会が行われた。「国民にとっても貴重な財産」と知事。



### 「1家族1旅行」運動を

### 県内5有料道路 GW無料

知事は打撃を受けた県内観光地支援の為、県道路公社が管理する有料道路5路線を、GW中(29日から5月8日)無料にすると発表。

### 本県観光を呼び掛け

22日、東京・池袋サンシャインシティでの「とちぎの観光と農産物フェア」で知事、女将らとPR。

### 県震災復興本部設置

27日、福田知事を本部長に観光と農業再生を重点に取組んでいく。

### とちぎ産業節電サミット

5月23日、本県産業界の代表者らが夏場の電力不足対策について



女将らと県内観光地や農産物の安全性をPR

### 放射線表土除去補助

学校施設の放射線量問題で知事は6月9日、文部科学省に高木文科相を訪ね、土壌除去の財政的支援について福島県と同様の対応を求める要望書を手渡した。16日、知事は費用の半分を市町に補助する方針を決定。



高木文科相に要望書を手渡し福田知事ら

### 政権への不信感、頂点に

### 秋田で全国知事会議

都道府県知事が一堂に会し、地方を取り巻く課題を話し合う全国知事会議が、7月12日、13日の2日間、秋田県秋田市で開催された。東日本大震災からの復興や福島第1原発への国の対応をめぐって批判一色に。現政権に対する地方側の不信感も頂点に達した。復興提言などをまとめた閉幕した知事会議は、原子力政策だけでなく国家の将来像や円高対策など、国策に関するテーマについても活発に意見が交わされ「国には任せておけない」と、問題解決の糸口を見出そうとする地方の危機感をうかがわせた。山田啓二全国知事会長は会議後の記者会見で「知事会の議論は今まで国への要望型だったが、今回は提案型になった」との認識を示した。

### 福田知事の要望提言に

復興提言では、福田知事が要望した風評被害の払拭について、国に対応強化を求める文言が付け加えられた。知事は「被災地の現実の姿を他県にも理解してもらえた」と一定の評価。

### 山岡代表「栃木は蚊帳の外」発言

### 民主県連へ知事質問状

福田富一知事は7月4日、民主党県連の山岡賢次代表宛てに公開質問状を提出した。同党県連が2日、県内の業界団体を対象に開いた予算の概算要求のヒアリングの席上、知事の欠席について山岡代表が「栃木県はだんだん蚊帳の外になっていく」と述べたほか、各省庁に対する県の要望活動について「出すものは一応受け付けるかもしれないが、正式のチャンネルではない」とも発言した。県の概算要求については6月29日、大震災関連を含めて43項目にわたる提案・要望が国に提出されている。福田知事は4日、記者会見を開き、「県がやっている要望が無意味であるような発言。事実であれば県民の利益に重大な影響が生じる。県民から負託を受けた知事として真意を確

### 東奔西走の日々

- ◇ 1月1日 皇居／新年祝賀の儀に夫妻で出席
- ◇ 1月4日 知事年頭訓示／「発想の転換で閉塞状況を打破していきたい」
- ◇ 2月7日 地方6団体代表と片山総務相との会合／「地方自治法、拙速な改正に反対」と福田富一総務常任副委員長
- ◇ 2月26日 都内で臨時全国知事会議／「社会保障制度改革で提言したい」と社会文教常任委員長の福田知事
- ◇ 3月21日 那須町と鹿沼市の避難所を訪問／福島県飯館村からの避難者らを激励
- ◇ 3月22日 菅首相らに緊急要望／農作物補償など4項目
- ◇ 3月30日 県庁のロビーで「がんばろう!とちぎの農産物フェア」／「県産農産物は安全」とアピール
- ◇ 4月1日 入庁式／「復興の最前線に立った気持ちで活躍を」と激励
- ◇ 4月28日 春の交通安全運動セレモニー／「目標達成に気を引き締めていきたい」と挨拶
- ◇ 4月28日 臨時市町村長会議／「県と市町が一体となって復興策を進めていきたい」と知事
- ◇ 5月3日 JR上野駅で「応援産直市」／観光客に県産品をセールス
- ◇ 5月25日 都内で関東知事会議／国に対する5項目の提案・要望を確認
- ◇ 5月28日 下野市で県植樹祭／緑の財産次世代に引き継いでいくと知事
- ◇ 5月28日 とちぎ元気フォーラム in 茂木／「棚田は心とむ」と知事
- ◇ 6月9日 とちぎ元気フォーラム in 白鷗大／栃木といえど豊かな自然
- ◇ 6月24日 足利市で「栃木・両毛地区ブロック別市町村長会議」／震災関連要望に対して、知事は国の支援策や県独自の施策を紹介

(4面へ続く)

# 続「栃木は蚊帳の外」発言

(3面からの続き)

『国と地方があたかも主従関係と認識したかのような言動は信頼関係を根底から崩しかねない。』

『国と地方を「対等」と位置付け、敬意を払う意識が感じられない。』

『まるで知事を部下扱いするような口調だ。』

『この「上から目線」は何なのか。民主党議員は政権に就いて自分達が偉くなったと勘違いしているのではないか。』

『民主党は「明治維新以来続いた中央集権体制を抜本的に改め」「国と地方自治体との関係を上下・主従から対等・協力の関係へ改める」(2009年衆院選マニフェスト)ことを目指しているのではなかったのか。』

以上は、福田知事の記者会見を報じる7月5日の記事と同日の、被災地を訪問した際の松本復興相発言に対する各新聞の社説の抜粋である。

この記事を読んで山岡代表の発言と通ずるものを感じた。県民は多かつたのではないだろうか。この日、松本復興相は辞任した。

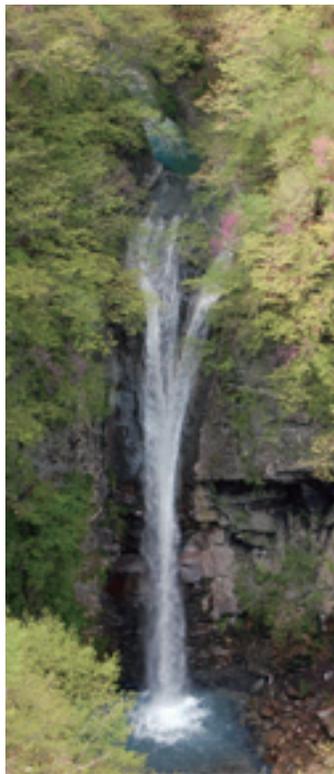
## 栃木県も被災地

今回の大震災では栃木県も甚大な被害を被った。山岡代表の選挙区も被災地であり、まさに復興に向けて県と市町が頑張っている最中である。

『栃木は蚊帳の外』『出すもの(要望)は一応受付ける』『県と県内市町が予算要望で不利益を被る』などの発言は「天に唾す」行為と言える。

## 平成の森ハイキング

7月3日(日)110名が大型バス3台に分乗し、一路那須へ向かった。午前中は5月22日に開園したばかりの那須平成の森を散策。整備されたばかりのフィールドセンターを出発し、木々から溢れるパワーを感じながら駒止の滝へ。観瀑台から望む滝はコバルト



観瀑台から望む『駒止の滝』

ブルーの水をたたえて神秘的で、吹く風は爽やかだった。午後バスで10分ほど移動して大丸駐車場へ。小雨降る中那須自然遊歩道ハイキング。気軽に歩くことができるコースは那須温泉郷の豊かな自然を満喫するのにはもってこいの場所。生命のいぶきを感じ心身に癒しと活力をたくわえた1日となった。

## 山岡代表 回答しない考え

「内々の席での発言」

22日の新聞記事によれば山岡代表は「知事に直接言ったことではない」と、回答しない考えを示し、「知事が直接聞きにくければ(口頭)で回答する」とした。まさしく上から目線である。知事はTVのニュースで山岡代表の発言を聞いていたが、これが「内々の席での発言」なのだろうか。

## 民主県連ヒヤリング

11首長が否定的

自治体対象のヒヤリングは議員の存在感を示すのが狙いだ、と新聞には書いてあるが、山岡代表にはぜひ党利党略にとらわれず、栃木県民の幸せのために、要望実現に向けて政権与党としての力を発揮してもらいたいものである。

## ゆりの会新年会

ゆりの会新年会が2月20日、ホテル東日本を会場に、船田元先生、佐藤栄一市長を来賓にお迎えし、230余名の参加者を得て開催された。戸波ツヤ様率いるフォークダンスが会を華やかに盛り上げて下さり、抽選会や写真撮影など盛りだくさんの内容に、会は終始和やかな内に時間を忘れて練り広げられ、締めくくりに「とみかずサンバ」を熱唱、親睦を深める集いとなった。



新年会で挨拶する福田知事

## 『福田家の茶の間』

大地震が起きてしまった。犠牲になられた方々、そして被災した皆様には心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。このたびの地震は栃木県にも甚大な被害をもたらした。直後から夫は、被災者・被災地支援、放射能対応、復興対策と忙殺されてきた。ほっと一息つくところ放射能問題は、今も関係者を苦しめている。震災後、私にできることはないだろうかと考えたが、やはり夫が安心して働けるようにすることが私の仕事だと思ひ、子供達と一緒に『とちま募金』に参加し、笑顔で夫を送り出し、「お疲れ様」と笑顔で夫を迎えている。



今回の震災で人生観が変わったという人の話をよく聞くと、私もその中の1人である。家族が皆健康で元気に働ける、それが最高の幸福なのだと思えて実感した。我家の節電は夫から始まった。使おうとするプラグが抜けている。「節電だ」と夫。私が無機嫌な顔をしたのだらう、気が付くと元に戻っていた。だが、夫は皆さんに節電をお願いしている立場、協力しなければ、と思ひ直して必要な電源以外コンセントから抜いた。電気ポットもやめた。テレビもこまめに消す。7月の消費電力量は前年比25%減となった。8月も30度以上にならないとエアコンは使わず、節電に取り組みたい。

## 編集後記

『初心』は各新聞の記事を抜粋して作らせて頂いている。私心はない。大地震から4か月、知事が震災対応に奔走する中で起きた○○代表の発言。結局は「内々の席での発言」で終わらせる様だが、昨年3月にも系列県議の発言で県議会が紛糾した際、「関係者の国会招致もあり得る」と発言。県議会が『地方政治に不当介入』と抗議文を提出したが、その時も何の釈明もなく終っている。言葉の軽さで済まされない問題である。

◆◆福田宣後援会総連合会事務所

◆◆福田富一暮らしと政治研究所  
宇都宮市馬場通り2-1-12  
電話 028(6333)1111  
FAX 028(6333)1110

## 文化講演会のお知らせ

講師 中村メイコ さん



演題 「私の生き方」

日時 10月17日(月)  
午後6時30分 開会

場所 宇都宮グランドホテル  
入場料 1,000円

※チケットご希望の方は事務所にご連絡下さい。(当日券もあります)

## 2011年度 下半期の行事予定

知事と語る会 日時：11月頃  
場所：未定

※日時・場所等、決まり次第お知らせ致します。

もちつき大会 日時：12月4日(日)  
11時~13時  
場所：今宮1丁目公園  
会費：大人 300円  
子供 100円

ゆりの会新年会 日時：2012年2月19日(日)  
11時~13時  
(女性のみ) 場所：ホテル東日本宇都宮  
会費：5,000円